

1. 件名：日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターの原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日時：令和元年10月7日 13:37～19:31

3. 場所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉企画調整官、落防災専門官、唐箕防災専門官、前澤専門職、岡村係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 危機管理課 担当者 他3名

5. 要旨

日本原子力研究開発機構から、令和元年11月14日に予定されている人形峠環境技術センターの原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）
- ・ 訓練シナリオ
- ・ 今年度評価指標のうち主に[PLAN(計画)]、[DO(実行)]に関する内容

原子力規制庁より、中期計画の目指すべき姿が古い記載になっているため見直すこと、早急に昨年度課題の対策としている書画装置の配備をするとともに書画装置が配備された場合の情報フローを整理すること、要素訓練を計画的に実施することなどを伝えた。また、資料2について説明を行った。

日本原子力研究開発機構から、訓練に向けて見直すとの回答があった。

今後、訓練実施に向けて原子力規制庁と日本原子力研究開発機構の訓練コントローラ間で調整しながら準備を進めることとした。

6. その他

配布資料：あり

資料1 人形峠環境技術センター防災訓練事前面談資料(日本原子力研究開発機構)

資料2 事業者防災訓練の実施スケジュール補足事項(原子力規制庁)